

原子力発電所建設、2030 年稼働へ | ベトナム政府が計画推進

2025 年 2 月 13 日 作成

カテゴリ ベトナム市場調査 環境・再生可能エネルギー

原子力発電所建設、2030 年稼働へ | ベトナム政府が計画推進

ファム・ミン・チン首相は、原子力発電所建設指導委員会の初会合で、ベトナム初の原子力発電所を 2030 年までに稼働させるという目標を掲げ、具体的な計画の策定を指示した。

この目標達成のため、関連機関は年間行動計画を策定し、着実に実行する必要がある。商工省が関係機関の調整を担当する。首相は、原子力発電所建設プロジェクトに関わる人々のために、プロジェクト予定地のニントゥアン省におけるインフラ整備を指示し、タインソン空港の建設などを指示した。

原子力発電所建設指導委員会は 1 月 10 日に発足し、委員長はチン首相が務める。2 月 4 日の会合では、ベトナム電力グループ(EVN)とペトロベトナムグループ(PVN)が原子力発電所建設プロジェクトの投資主に指定された。EVN は第 1 ニントゥアン原子力発電所の、PVN は第 2 ニントゥアン原子力発電所の投資主となる。海外パートナーの選定に向けて、両社は 2 月末までに海外にミッション団を派遣し、交渉を行うよう指示された。

首相は、プロジェクトを 2031 年末までに完了させ、可能であれば党創立 100 周年にあたる 2030 年末までの完了を目指すよう求めた。原子力発電に関する PDP8 の修正案を商工省が 2 月 28 日までに完成させる必要もある。ベトナムの原子力分野の人材は現在約 400 人であり、EVN をはじめとする関係機関は、人材育成計画を提案する。また、ニントゥアン省には、プロジェクトのために人々が土地を放棄するための敷地整地と政策に関する作業が求められている。

以上